

参考図表

利用上の注意

- 1 表示単位未満の端数は、四捨五入した。
したがって、計と内訳とは必ずしも一致しない。
- 2 増減率は、原数値で計算しているため、表中の数値
による計算値とは必ずしも一致しない。
- 3 表に使用した記号
 - (1) 「0」は、単位に満たないもの。
 - (2) 「▲」は、マイナスのもの。
 - (3) 「…」は、事実不詳のもの。
 - (4) 「ー」は、該当のないもの。

目次

1	水産基本指標	200
2	水産物需給	
2-1	漁業・養殖業部門別生産量・生産額の推移	201
2-2	海面漁業主要魚種別生産量及び生産額の推移	202
2-3	海面養殖業主要魚種別生産量及び生産額の推移	203
2-4	内水面漁業・養殖業主要魚種別生産量及び生産額の推移	203
2-5	水産物の主要品目別輸入量及び金額の推移	204
2-6	輸入金額上位3か国からの主要輸入品目の金額	204
2-7	水産物の主要品目別輸出量及び金額の推移	205
2-8	輸出金額上位3か国（地域）への主要輸出品目の金額	205
2-9	主要品目別産地価格の推移	206
2-10	魚介類国内消費仕向量及び自給率の推移	206
2-11	年間1人当たりの魚介類品目別家計消費の推移（全国）	207
3	国際	
3-1	世界の漁業・養殖業生産量の推移	208
3-2	食用魚介類供給量の推移	209
	（1）主要国別供給量の推移	209
	（2）国民1人1年当たりの供給量の推移	209
3-3	マグロ類に関する情報	210
	（1）国・地域別漁獲量	210
	（2）魚種別漁獲量	210
	（3）冷凍マグロ4種の消費地市場（東京都）価格の推移	210
	（4）我が国への供給量の推移	210
4	漁業経営・生産構造	
4-1	漁業経営体数の推移	211
4-2	経営組織別漁業経営体数の推移	212
4-3	漁業用生産資材価格指数の推移（平成27（2015）年=100）	212
4-4	沿岸漁家の漁労所得の推移	212
4-5	沿岸漁船漁家の漁業経営状況の推移	213
4-6	海面養殖業漁家の経営状況の推移	213
4-7	会社経営体（漁船漁業）の漁労収益の状況（平成29（2017）年度）	214
4-8	会社経営体（漁船漁業）の収益状況の推移	214
4-9	会社経営体（漁船漁業）の財務状況等の推移	215
4-10	漁協（沿海地区出資漁協）の事業規模（全国）の推移	215
4-11	沿岸、沖合・遠洋漁業別就業者数の推移	216
4-12	新規漁業就業者数の推移	216



4-13	我が国の漁船勢力の推移	216
5	漁村	
5-1	漁港数の推移	217
5-2	漁港登録漁船隻数の推移	217
6	水産物の栄養	
1人1日当たり食品群別栄養素等摂取量（平成29（2017）年）		217

1 水産基本指標

	項目	データ	備考
経済指標	排他的経済水域等	447万km ²	国土面積37.8万km ² 、国土面積の約12倍
	国内総生産（GDP）	水産業は8,294億円（平成29年）	総生産は545兆円
水産物需給	自給率	<ul style="list-style-type: none"> ・食用魚介類：55% （平成29年度概算値） ・海藻類：68% （平成29年度概算値） ・魚介類全体：52% （平成29年度概算値） 	<ul style="list-style-type: none"> ・食用魚介類自給率目標（水産基本計画、重量ベース） 令和4年度 70% ・食用魚介類自給率ピーク 昭和39年度 113%
	漁業・養殖業生産量	431万トン（平成29年）	生産量ピーク 1,282万トン（昭和59年）
	漁業生産額	1兆6,075億円（平成29年）	生産額ピーク 2兆9,772億円（昭和57年）
	漁業産出額	1兆5,755億円（平成29年）	
	種苗の生産額	320億円（平成29年）	
生産漁業所得	8,154億円（平成29年）		
貿易	輸入額	1兆7,910億円（平成30年）	農林水産合計 9兆6,688億円
	輸出額	3,031億円（平成30年）	農林水産合計 9,068億円
漁業経営	沿岸漁家の漁労所得	348万円（平成29年）	
	沿岸漁船漁家	219万円（平成29年）	
	海面養殖業漁家	1,166万円（平成29年）	
生産構造	漁業経営体数	7.9万経営体（平成29年）	昭和28年は25.2万経営体
	漁業就業者数	15.3万人（平成29年）	昭和28年は79万人
	漁業協同組合数	1,861組合 （沿海地区漁協は955組合） （平成29年度末）	昭和41年は2,476組合
	漁船数	152,998隻（平成25年）	昭和43年は345,606隻
	漁港数	2,823港（平成29年度末）	平均すると海岸線約12kmごとに存在
	漁業集落数	6,298集落（平成25年）	平均すると海岸線約5.6kmごとに存在

注：1） 漁業生産額は、漁業産出額（漁業・養殖業の生産量に産地市場卸売価格等乗じて推計したもの）に種苗の生産額を加算したもの。

2） 生産漁業所得とは、漁業産出額から物的経費（減価償却費及び間接税を含む。）を控除し、経常補助金を加算したもの。

3） 漁業就業者の昭和28年の値は、漁業従業者数である。



2 水産物需給

2-1 漁業・養殖業部門別生産量・生産額の推移

(単位 数量：千トン
金額：億円)

		平成19年 (2007)	24 (2012)	25 (2013)	26 (2014)	27 (2015)	28 (2016)	29 (2017)	増減率 (%)	
									29/19 (2017/2007)	29/28 (2017/2016)
生産量	合計	5,720	4,853	4,774	4,765	4,631	4,359	4,306	▲24.7	▲ 1.2
	海面	5,639	4,786	4,713	4,701	4,561	4,296	4,244	▲24.7	▲ 1.2
	漁業	4,397	3,747	3,715	3,713	3,492	3,264	3,258	▲25.9	▲ 0.2
	遠洋漁業	506	458	396	369	358	334	314	▲38.0	▲ 6.0
	沖合漁業	2,604	2,198	2,169	2,246	2,053	1,936	2,051	▲21.2	▲ 6.0
	沿岸漁業	1,287	1,090	1,151	1,098	1,081	994	893	▲30.6	▲10.1
	養殖業	1,242	1,040	997	988	1,069	1,033	986	▲20.6	▲ 4.5
	内水面	81	67	61	64	69	63	62	▲23.4	▲ 1.7
	漁業	39	33	31	31	33	28	25	▲35.4	▲ 9.7
	養殖業	42	34	30	34	36	35	37	▲12.2	▲ 4.7
生産額	合計	16,533	14,165	14,358	15,034	15,859	15,856	16,075	▲ 2.8	▲ 1.4
	海面	15,760	13,276	13,503	14,105	14,823	14,718	14,878	▲ 5.6	▲ 1.1
	漁業	11,270	9,144	9,439	9,663	9,957	9,620	9,628	▲14.6	▲ 0.1
	遠洋漁業
	沖合漁業
	沿岸漁業
	養殖業	4,490	4,132	4,064	4,443	4,866	5,098	5,250	16.9	3.0
	(うち種苗)	182	178	182	184	193	210	271	49.0	28.9
	内水面	773	889	855	929	1,036	1,138	1,197	54.8	5.2
	漁業	227	179	168	177	184	198	198	▲12.4	▲ 0.4
養殖業	547	710	687	751	853	940	998	82.6	6.2	
(うち種苗)	34	36	37	41	44	47	49	44.2	4.7	

資料：農林水産省「漁業・養殖業生産統計」及び「漁業産出額」

- 注：1) 遠洋漁業とは、遠洋底びき網漁業、以西底びき網漁業、大中型遠洋かつお・まぐろ1そうまき網漁業、遠洋まぐろはえ縄漁業、遠洋かつお一本釣漁業及び遠洋いか釣漁業をいう。なお、平成24(2012)年以降は、遠洋底びき網漁業、以西底びき網漁業、大中型遠洋かつお・まぐろ1そうまき網漁業、太平洋底刺し網等漁業、遠洋まぐろはえ縄漁業、大西洋等はえ縄等漁業、遠洋かつお一本釣漁業及び遠洋いか釣漁業をいう。
- 2) 沖合漁業とは、10トン以上の動力漁船を使用する漁業のうち、遠洋漁業、定置網漁業及び地びき網漁業を除いたものをいう。平成24(2012)年以降は、沖合底びき網1そうびき漁業、沖合底びき網2そうびき漁業、小型底びき網漁業、大中型近海かつお・まぐろ1そうまき網漁業、大中型その他の1そうまき網漁業、大中型2そうまき網漁業、中・小型まき網漁業、さけ・ます流し網漁業、かじき等流し網漁業、さんま棒受網漁業、近海まぐろはえ縄漁業、沿岸まぐろはえ縄漁業、東シナ海はえ縄漁業、近海かつお一本釣漁業、沿岸かつお一本釣漁業、近海いか釣漁業、沿岸いか釣漁業、日本海べにずわいがに漁業及びずわいがに漁業をいう。
- 3) 沿岸漁業とは、漁船非使用漁業、無動力漁船及び10トン未満の動力漁船を使用する漁業並びに定置網漁業及び地びき網漁業をいう。平成24(2012)年以降は、船びき網漁業、その他の刺し網漁業(遠洋漁業に属するものを除く)、大型定置網漁業、さけ定置網漁業、小型定置網漁業、その他の網漁業、その他のはえ縄漁業(遠洋漁業又は沖合漁業に属するものを除く)、ひき縄釣り漁業、その他の釣り漁業、採貝・採藻漁業及びその他の漁業(遠洋漁業又は沖合漁業に属するものを除く)をいう。
- 4) 海面養殖業とは、海面または陸上に設けられた施設において、海水を利用して水産動植物を集約的に育成し、収穫する事業をいう。なお、海面養殖業には、海面において、魚類を除く水産動植物の採苗を行う事業を含む。
- 5) 内水面漁業とは、公共の内水面において、水産動植物を採捕する事業をいう。
- 6) 内水面養殖業とは、一定区画の内水面又は陸上において、淡水を使用して水産動植物(種苗を含む)を集約的に育成し、収穫する事業をいう。
- 7) 海面漁業生産額の合計には、捕鯨業を含む。
- 8) 内水面漁業・養殖業生産量は、平成19(2007)年は主要106河川24湖沼、平成24(2012)及び25(2013)年は主要108河川24湖沼、平成26(2014)～29(2017)年は主要112河川24湖沼の値である。平成19(2007)年以降の内水面養殖業は、ます類、あゆ、こい及びうなぎの4魚種の収穫量である。また、収穫量には、琵琶湖、霞ヶ浦及び北浦において養殖されたその他の収穫量を含む。
- 9) 平成19(2007)年以降の内水面漁業の漁獲量、生産額には、遊漁者(レクリエーションを主な目的として水産動植物を採捕する者)による採捕は含まれない。
- 10) 生産額は、種苗の生産額を含む。

2-2 海面漁業主要魚種別生産量及び生産額の推移

{単位 数量：千トン
金額：億円}

		平成19年 (2007)	24 (2012)	25 (2013)	26 (2014)	27 (2015)	28 (2016)	29 (2017)	増減率 (%)	
									29/19 (2017/2007)	29/28 (2017/2016)
生 産 量	合 計	4,397	3,747	3,715	3,713	3,492	3,264	3,258	▲25.9	▲ 0.2
	ま ぐ ろ 類	258	208	188	190	190	168	169	▲34.4	0.4
	か じ き 類	21	17	16	15	15	14	13	▲37.0	▲ 9.5
	か つ お 類	358	315	300	266	264	240	227	▲36.6	▲ 5.5
	さ け ・ ま す 類	235	134	170	151	140	112	72	▲69.4	▲35.8
	い わ し 類	567	527	611	579	642	710	769	35.5	8.2
	うち、まいわし	79	135	215	196	311	378	500	532.1	32.2
	うち、かたくちいわし	362	245	247	248	169	171	146	▲59.8	▲14.9
	あ じ 類	196	158	175	162	167	153	165	▲16.0	8.0
	さ ば 類	457	438	375	482	530	503	518	13.4	3.0
	さ ん ま	297	221	150	229	116	114	84	▲71.7	▲26.4
	ぶ り 類	72	102	117	125	123	107	118	62.5	10.3
	ひ ら め ・ か れ い 類	64	53	53	52	49	50	54	▲15.1	8.2
	た ら 類	262	281	293	252	230	178	174	▲33.9	▲ 2.6
	うち、すけとうだら	217	230	230	195	180	134	129	▲40.3	▲ 3.7
	ほ っ け	139	69	53	28	17	17	18	▲87.2	2.2
	た い 類	26	26	23	25	25	25	25	▲ 3.9	1.0
	い か 類	326	216	228	210	167	110	103	▲68.2	▲ 6.0
	うち、するめいか	253	168	180	173	129	70	64	▲74.9	▲ 9.2
	ほ た て が い	258	315	348	359	234	214	236	▲ 8.7	10.4
上 記 以 外 の 魚 種	862	667	616	587	583	548	515	▲40.3	▲ 6.1	
生 産 額	合 計	11,270	9,144	9,439	9,663	9,957	9,620	9,628	▲14.6	0.1
	ま ぐ ろ 類	1,672	1,213	1,078	1,167	1,324	1,167	1,225	▲26.7	5.0
	か じ き 類	129	103	90	96	107	104	100	▲22.2	▲ 4.0
	か つ お 類	764	737	724	609	666	645	691	▲ 9.6	7.1
	さ け ・ ま す 類	811	630	722	726	723	668	694	▲14.5	3.8
	い わ し 類	618	616	548	593	647	650	667	7.9	2.7
	うち、まいわし	75	80	132	130	173	198	254	237.6	28.1
	うち、かたくちいわし	212	168	172	169	140	130	129	▲39.2	▲ 0.3
	あ じ 類	397	354	370	359	358	323	309	▲22.3	▲ 4.5
	さ ば 類	392	371	403	481	451	435	450	14.8	3.4
	さ ん ま	219	171	230	256	253	259	246	12.4	▲ 5.3
	ぶ り 類	277	244	273	339	342	299	312	12.7	4.3
	ひ ら め ・ か れ い 類	394	260	252	255	261	256	254	▲35.6	▲ 0.8
	た ら 類	360	252	232	291	323	261	234	▲35.2	▲10.7
	うち、すけとうだら	228	135	129	152	164	116	100	▲56.3	▲14.0
	ほ っ け	77	58	53	55	47	43	35	▲54.4	▲19.4
	た い 類	192	162	152	150	153	151	151	▲21.0	0.2
	い か 類	868	651	775	716	654	663	645	▲25.7	▲ 2.7
	うち、するめいか	502	392	514	488	395	390	365	▲27.2	▲ 6.4
	ほ た て が い	409	391	613	621	584	632	597	45.9	▲ 5.6
上 記 以 外 の 魚 種	3,692	2,931	2,923	2,950	3,062	3,063	3,019	▲18.2	▲ 1.4	

資料：農林水産省「漁業・養殖業生産統計」及び「漁業産出額」



2-3 海面養殖業主要魚種別生産量及び生産額の推移

{単位 {数量：千トン
金額：億円}

		平成19年 (2007)	24 (2012)	25 (2013)	26 (2014)	27 (2015)	28 (2016)	29 (2017)	増減率 (%)	
									29/19 (2017/2007)	29/28 (2017/2016)
生産量	合計	1,242	1,040	997	988	1,069	1,033	986	▲20.6	▲4.5
	ぶり類	160	160	150	135	140	141	139	▲13.0	▲1.3
	まだい	67	57	57	62	64	67	63	▲5.7	▲6.1
	はたてがい	248	184	168	185	248	215	135	▲45.4	▲37.0
	かき類(殻付き)	204	161	164	184	164	159	174	▲15.0	9.4
	こんぶ類	41	34	35	33	39	27	32	▲21.5	19.9
	わかめ類	54	48	51	45	49	48	51	▲5.8	7.2
	のり類	396	342	316	276	297	301	304	▲23.1	1.2
	上記以外の魚種	72	53	56	69	68	76	87	20.7	15.2
生産額	合計	4,490(182)	4,132(178)	4,064(182)	4,443(184)	4,866(193)	5,098(210)	5,250(271)	16.9	3.0
	ぶり類	1,135(17)	1,071(24)	1,115(30)	1,193(30)	1,201(29)	1,177(28)	1,192(31)	5.1	1.3
	まだい	555(48)	482(42)	492(42)	439(40)	439(38)	536(39)	552(46)	▲0.5	3.0
	はたてがい	409(76)	257(81)	323(82)	412(85)	608(98)	624(107)	457(157)	11.9	▲26.8
	かき類	300(6)	304(6)	301(5)	363(4)	384(4)	354(6)	334(7)	11.7	▲5.6
	こんぶ類	106(-)	79(-)	80(-)	78(-)	88(-)	77(-)	95(-)	▲11.0	23.3
	わかめ類	73(1)	97(1)	71(1)	66(1)	80(0)	103(0)	107(0)	46.2	4.7
	のり類	950(6)	945(5)	724(5)	728(5)	851(4)	1,002(4)	1,167(5)	22.8	16.4
	上記以外の魚種	962(27)	895(20)	958(18)	1,163(19)	1,216(20)	1,224(25)	1,346(24)	39.9	9.9

資料：農林水産省「漁業・養殖業生産統計」及び「漁業産出額」

注：1) 生産量の海藻類は生換算、貝類は殻付き重量である。

2) 海面養殖業の生産額は、種苗の生産額も含む。なお、()内は、種苗の生産額である。

2-4 内水面漁業・養殖業主要魚種別生産量及び生産額の推移

{単位 {数量：千トン
金額：億円}

		平成19年 (2007)	24 (2012)	25 (2013)	26 (2014)	27 (2015)	28 (2016)	29 (2017)	増減率 (%)	
									29/19 (2017/2007)	29/28 (2017/2016)
生産量	合計	81	67	61	64	69	63	62	▲23.4	▲1.7
	内水面漁業	39	33	31	31	33	28	25	▲35.4	▲9.7
	さけ・ます類	15	14	13	11	13	8	6	▲58.2	▲26.6
	あゆ	3	3	2	2	2	2	2	▲34.0	▲9.3
	しじみ	11	8	8	10	10	10	10	▲9.8	3.0
	上記以外の魚種	10	9	7	8	8	7	7	▲29.9	▲7.1
	内水面養殖業	42	34	30	34	36	35	37	▲12.2	4.7
	ます類	11	8	8	8	8	8	8	▲29.7	▲2.1
	あゆ	6	5	5	5	5	5	5	▲13.0	▲2.5
こい	3	3	3	3	3	3	3	4.2	▲3.7	
うなぎ	22	17	14	18	20	19	21	▲5.7	11.0	
生産額	合計	773	889	855	929	1,036	1,138	1,197	54.8	5.2
	内水面漁業	227	179	168	177	184	198	198	▲12.4	0.4
	さけ・ます類	23	22	18	17	19	16	14	▲38.2	▲9.4
	あゆ	78	61	61	63	67	84	87	12.9	4.6
	しじみ	69	50	53	60	55	56	58	▲16.9	2.8
	上記以外の魚種	56	45	36	37	42	42	39	▲30.9	▲7.4
	内水面養殖業	547	710	687	751	853	940(47)	998(49)	82.6	6.2
	ます類	96	83	81	80	85	95(8)	97(10)	1.0	1.7
	あゆ	86	77	87	88	90	91(18)	96(23)	11.4	5.2
こい	15	14	14	15	16	15(1)	14(0)	▲4.7	▲4.2	
うなぎ	317	497	468	497	581	650(-)	697(-)	120.0	7.2	
上記以外の魚種	33	40	37	71	81	89(20)	94(16)	188.9	6.0	

資料：農林水産省「漁業・養殖業生産統計」及び「漁業産出額」

注：1) 内水面漁業の漁獲量は、平成19(2007)年は主要106河川24湖沼、平成24(2012)及び25(2013)年は主要108河川24湖沼、平成26(2014)～29(2017)年は主要112河川24湖沼の値である。

2) 平成19(2007)年以降の内水面漁業の漁獲量及び生産額には、遊漁者(レクリエーションを主な目的として水産動物物を採捕する者)による採捕は含まれない。

3) 内水面養殖業の生産額は、種苗の生産額も含む。なお、平成28(2016)及び平成29(2017)年の()内は、種苗の生産額である。

2-5 水産物の主要品目別輸入量及び金額の推移

〔単位〕数量：千トン
金額：億円

	平成20年 (2008)	25 (2013)	28 (2016)	29 (2017)	30 (2018)	増減率 (%)	
						30/20 (2018/2008)	30/29 (2018/2017)
水産物合計	2,768	2,488	2,381	2,479	2,384	▲13.9	▲3.8
数							
さけ・ます類	248	249	230	227	235	▲5.1	3.8
まぐろ・かじき類	225	219	223	210	200	▲11.2	▲4.8
えび	202	192	167	175	158	▲21.7	▲9.4
えび調製品	64	73	60	63	64	0.1	2.9
いか	87	106	99	125	103	17.2	▲18.0
たら類(すり身含む)	93	138	155	183	167	80.5	▲8.7
かに	74	45	36	30	27	▲63.5	▲9.6
たこ	45	58	47	45	35	▲22.8	▲24.0
真珠(トン)	80	70	63	62	53	▲33.6	▲14.1
うなぎ調製品	17	8	15	15	15	▲12.9	▲4.1
たらの卵	45	36	36	43	42	▲5.9	▲3.3
うなぎ(活)	16	5	7	7	9	▲44.5	29.3
魚粉	304	195	154	174	189	▲37.8	8.7
いか調製品	43	47	50	50	45	3.4	▲10.5
ひらめ・かれい類	60	54	46	41	36	▲39.7	▲12.1
うなぎ稚魚(活)(トン)	12	18	9	1	7	▲44.3	352.0
その他	1,245	1,062	1,055	1,090	1,059	▲15.0	▲2.9
金額							
水産物合計(A)	15,696	16,569	15,979	17,751	17,910	14.1	0.9
さけ・ます類	1,317	1,617	1,795	2,235	2,257	71.3	1.0
まぐろ・かじき類	2,167	1,801	1,915	2,033	2,023	▲6.6	▲0.5
えび	1,975	2,231	1,987	2,205	1,941	▲1.7	▲12.0
えび調製品	550	757	694	750	760	38.2	1.4
いか	400	505	501	776	701	75.2	▲9.7
たら類(すり身含む)	432	381	524	593	622	43.8	4.8
かに	695	497	655	596	614	▲11.7	3.0
たこ	400	351	363	416	424	6.0	1.8
真珠	424	372	406	417	417	▲1.4	0.2
うなぎ調製品	251	238	311	335	367	46.3	9.6
たらの卵	569	329	277	332	315	▲44.6	▲5.2
うなぎ(活)	266	179	215	182	309	16.3	70.1
魚粉	318	300	236	265	303	▲4.8	14.0
いか調製品	179	233	250	307	297	65.8	▲3.1
ひらめ・かれい類	256	271	258	252	252	▲1.7	▲0.0
うなぎ稚魚(活)	82	289	141	15	210	154.7	1,316.2
その他	5,415	6,216	5,451	6,043	6,099	12.6	0.9
我が国の総輸入額(B)	514,994	812,425	660,420	782,420	827,033	13.1	5.7
(A)/(B)(%)	3.0	2.0	2.4	2.3	2.2		

資料：財務省「貿易統計」

- 注：1) 数量は、通関時の形態による重量である(以下「貿易統計」においては同じ。)
2) カニについては、このほかにカニ調整品が輸入されている。

2-6 輸入金額上位3か国からの主要輸入品目の金額

(単位：億円)

	平成29年 (2017)	30 (2018)	増減率 (%) 30/29 (2018/2017)
中国(香港、マカオを除く)	3,169	3,244	2.4
うなぎ調製品	326	358	9.7
いか	333	322	▲3.2
まぐろ・かじき類(冷凍)	312	269	▲13.8
米国	1,658	1,573	▲5.1
たら類(すり身含む、冷凍)	486	503	3.3
さけ・ます類(生鮮冷蔵・冷凍)	116	154	32.5
たらの卵	131	132	0.6
チリ	1,575	1,528	▲3.0
さけ・ます類(生鮮冷蔵・冷凍)	1,283	1,248	▲2.7
うに(生鮮冷蔵・冷凍)	78	75	▲4.2
魚粉	47	45	▲4.1

資料：財務省「貿易統計」



2-7 水産物の主要品目別輸出量及び金額の推移

〔単位〕数量：千トン
金額：億円

	平成20年 (2008)	25 (2013)	28 (2016)	29 (2017)	30 (2018)	増減率 (%)			
						30/20 (2018/2008)	30/29 (2018/2017)		
水産物合計	519	552	537	595	750	44.5	26.0		
数	ほたてがい	12	57	62	48	84	630.0	76.6	
	真珠(トン)	57	40	46	54	45	▲20.2	▲15.6	
	さば	133	113	211	232	250	87.5	7.5	
	ぶり	3	6	8	9	9	259.2	▲0.5	
	まぐろ・かじき類	25	31	17	22	22	▲10.8	1.0	
	なまこ(干しなまこ以外)(トン)	—	678	481	587	491	…	▲16.4	
	水産練り製品	8	8	11	11	13	61.8	13.2	
	ほたてがい調製品	—	3	2	1	1	…	25.1	
	干しなまこ(トン)	283	170	168	162	137	▲51.7	▲15.4	
	いわし	1	55	39	62	99	13,393.7	60.4	
	量	かつお類	58	44	7	16	34	▲41.2	114.7
		さけ・ます類	45	33	18	12	10	▲77.4	▲14.9
		観賞魚(トン)	229	259	295	293	286	24.6	▲2.4
		珊瑚(トン)	28	76	57	14	6	▲78.3	▲56.1
食用海藻		3	1	1	2	1	▲46.0	▲3.9	
その他		232	198	158	179	224	▲3.2	25.1	
水産物合計(A)		2,087	2,216	2,640	2,749	3,031	45.3	10.2	
ほたてがい		149	398	548	463	477	219.8	3.1	
真珠		320	199	329	363	373	16.6	2.8	
さば		148	120	180	219	267	79.8	22.0	
額	ぶり	39	87	135	154	158	306.4	2.5	
	まぐろ・かじき類	96	96	89	111	124	29.2	11.6	
	なまこ(干しなまこ以外)	—	130	95	125	121	…	▲3.5	
	水産練り製品	61	59	93	95	107	73.8	12.0	
	ほたてがい調製品	—	142	128	94	96	…	1.9	
	干しなまこ	133	98	87	82	90	▲32.7	9.4	
	いわし	1	41	35	53	83	12,146.9	56.8	
	かつお類	101	82	12	34	57	▲43.4	69.2	
	さけ・ます類	103	84	65	56	49	▲52.3	▲12.6	
	観賞魚	22	30	36	37	44	96.2	18.3	
	珊瑚	10	53	64	51	43	333.6	▲15.9	
	食用海藻	36	24	30	33	33	▲7.8	▲1.2	
	その他	867	574	716	779	910	4.9	16.9	
	我が国の総輸出額(B)	810,181	697,742	700,358	782,865	814,788	0.6	4.1	
(A)/(B)(%)	0.3	0.3	0.4	0.4	0.4				

資料：財務省「貿易統計」

- 注：1) 真珠には、各種製品を含む。
- 2) なまこ(干しなまこ以外)は、調製品に限る。

2-8 輸出金額上位3か国(地域)への主要輸出品目の金額

(単位：億円)

	平成29年 (2017)	30 (2018)	増減率 (%) 30/29 (2018/2017)
香港	850	894	5.1
真珠	292	310	6.3
なまこ調製品(干しなまこ以外)	123	112	▲9.0
なまこ調製品(干しなまこ)	81	87	7.5
中国(香港、マカオ除く)	375	482	28.7
ほたてがい(生鮮冷蔵・冷凍)	238	285	20.0
水産練り製品	8	15	78.2
さけ・ます類(冷凍)	24	13	▲45.3
米国	348	333	▲4.1
ぶり(生鮮冷蔵・冷凍)	128	128	▲0.2
水産練り製品	32	35	9.8
ほたてがい(生鮮冷蔵・冷凍)	58	29	▲50.6

資料：財務省「貿易統計」

2-9 主要品目別産地価格の推移

(単位：円/kg)

	平成20年 (2008)	25 (2013)	28 (2016)	29 (2017)	30 (2018)	増減率 (%)	
						30/20 (2018/2008)	30/29 (2018/2017)
水産物平均 (下記加重平均)	151	177	172	165	164	8.7	▲ 0.7
まぐろ 生鮮	1,649	1,793	1,776	1,900	1,612	▲ 2.2	▲15.2
まぐろ 冷凍	2,822	2,241	1,789	1,784	1,712	▲39.3	▲ 4.0
びんなが 生鮮	327	270	413	384	424	29.7	10.4
びんなが 冷凍	388	261	350	345	368	▲ 5.2	6.7
めばち 生鮮	1,176	1,418	1,461	1,339	1,412	20.1	5.5
めばち 冷凍	857	866	1,025	1,149	1,065	24.3	▲ 7.3
きはだ 生鮮	659	816	739	938	868	31.7	▲ 7.5
きはだ 冷凍	585	409	402	447	474	▲19.0	6.0
かつお 生鮮	303	329	354	378	306	1.0	▲19.0
かつお 冷凍	201	200	203	256	192	▲ 4.5	▲25.0
まいわし	112	56	52	49	43	▲61.8	▲12.7
うるめいわし	61	59	62	57	61	0.0	7.0
かたくちいわし	51	47	50	45	53	3.9	17.8
まあじ	220	194	191	175	191	▲13.2	9.1
むろあじ	101	109	120	91	94	▲ 7.1	3.1
さば類	86	108	81	85	97	12.8	14.1
さんま	65	155	213	257	184	183.6	▲28.3
ほっけ	55	83	213	152	94	71.0	▲38.1
するめいか 生鮮	162	283	531	570	529	226.4	▲ 7.2
するめいか 冷凍	213	351	633	618	611	186.8	▲ 1.1
うち (冷凍、近海)	214	354	642	618	611	185.7	▲ 1.1
うち (冷凍、遠洋)	183	237	398	—	—	…	…

資料：平成20 (2008) 年は農林水産省「水産物流通統計年報」に、平成25 (2013) ~30 (2018) 年は水産庁「水産物流通調査」に基づき水産庁で作成

注：1) 特に表示のない品目は、生鮮品・冷凍品の分類を行っていない。

2) 平成20 (2008) 年は42漁港、平成25 (2013) 年は211漁港、平成28 (2016) 年は209漁港、平成29 (2017) 年は206漁港、平成30 (2018) 年は48漁港の価格である。

2-10 魚介類国内消費仕向量及び自給率の推移

(単位：千トン)

	平成19年 (2007)	24 (2012)	27 (2015)	28 (2016)	29 (2017) (概算)	増減率 (%)	
						29/19 (2017/2007)	29/28 (2017/2016)
合計	9,550	8,297	7,663	7,365	7,374	▲22.8	0.1
食用魚介類	7,268	6,606	6,082	5,848	5,759	▲20.8	▲ 1.5
生鮮・冷凍	3,020	2,757	2,378	2,180	2,077	▲31.2	▲ 4.7
塩干・くん製・その他	3,926	3,514	3,366	3,325	3,342	▲14.9	0.5
かん詰	322	335	338	343	340	5.6	▲ 0.9
非食用 (飼肥料)	2,282	1,691	1,581	1,517	1,615	▲29.2	6.5
国民1人・1年当たり供給純食料 (kg)	32.0	28.9	25.7	24.8	24.4	▲23.8	▲ 1.6
食用魚介類自給率 (%)	62	57	59	56	55	▲11.3	▲ 1.8
(参考) 非食用を含む自給率 (%)	53	52	55	53	52	▲ 1.9	▲ 1.9

資料：農林水産省「食料需給表」

注：1) 自給率 = (国内生産量/国内消費仕向量) × 100

2) 数値は原魚換算したものであり、鯨類及び海藻類を含まない。



2-11 年間1人当たりの魚介類品目別家計消費の推移（全国）

〔単位〕数量：g
金額：円

第1部

参考図表

	平成20年 (2008)	25 (2013)	26 (2014)	27 (2015)	28 (2016)	29 (2017)	30 (2018)	増減率 (%)			
								30/20 (2018/2008)	30/29 (2018/2017)		
数	生鮮魚介計	11,608	10,027	9,441	9,267	9,106	8,312	7,874	▲32.2	▲ 5.3	
	鮮魚小計	10,515	9,117	8,608	8,440	8,299	7,556	7,167	▲31.8	▲ 5.1	
	まぐろ	796	777	763	723	756	712	647	▲18.7	▲ 9.1	
	あじ	540	356	348	374	408	376	313	▲42.1	▲16.8	
	いわし	221	242	227	257	256	244	215	▲ 2.4	▲11.6	
	かつお	350	329	319	332	326	269	273	▲21.8	▲ 1.5	
	かれい	408	340	346	315	297	276	239	▲41.4	▲13.4	
	さけ	990	1,003	850	903	918	835	841	▲15.0	▲ 0.8	
	さば	422	388	379	364	323	304	324	▲23.2	▲ 6.6	
	さんま	754	440	516	468	408	308	381	▲49.5	▲23.6	
	たい	233	166	199	192	195	178	142	▲39.1	▲20.0	
	ぶり	652	711	640	650	614	629	543	▲16.8	▲13.7	
	いか	995	756	688	657	527	411	387	▲61.1	▲ 5.9	
	たこ	221	259	225	225	231	234	181	▲18.2	▲22.7	
	えび	641	558	439	460	466	449	452	▲29.4	▲ 0.7	
	かに	237	203	182	184	163	147	120	▲49.3	▲18.5	
	貝類小計	1,087	907	829	818	802	749	699	▲35.7	▲ 6.6	
	量	あさり	355	347	302	299	294	285	237	▲33.3	▲17.0
		しじみ	100	92	96	99	94	91	96	▲ 4.0	▲ 5.9
		かき	198	162	166	160	158	168	157	▲20.8	▲ 7.0
ほたてがい		313	209	171	161	147	111	132	▲57.9	▲19.1	
塩干魚介計		3,168	2,910	2,631	2,674	2,608	2,549	2,331	▲26.4	▲ 8.5	
塩さけ		575	542	468	522	510	476	429	▲25.5	▲ 9.9	
(参考)生鮮肉計		13,256	14,841	14,868	15,053	15,787	16,038	16,459	▲ 24.2	▲ 2.6	
牛 肉		2,165	2,261	2,166	2,053	2,148	2,208	2,254	▲ 4.1	▲ 2.1	
豚 肉		5,850	6,382	6,369	6,578	6,829	6,976	7,221	▲23.4	▲ 3.5	
金		魚介類支出計	28,305	25,816	26,346	26,933	26,668	25,939	24,834	▲12.3	▲ 4.3
		生鮮魚介計	16,636	14,792	15,100	15,382	15,324	14,647	13,926	▲16.3	▲ 4.9
		鮮魚小計	15,131	13,499	13,848	14,124	14,097	13,467	12,805	▲15.4	▲ 4.9
		まぐろ	1,889	1,759	1,894	1,875	1,915	1,845	1,746	▲ 7.6	▲ 5.4
		あじ	527	381	405	434	460	438	383	▲27.3	▲12.5
		いわし	188	183	194	218	215	206	184	▲ 2.1	▲10.7
		かつお	552	504	531	534	542	468	472	▲14.4	▲ 0.9
		かれい	520	397	422	393	383	370	324	▲37.7	▲12.6
		さけ	1,348	1,381	1,383	1,502	1,560	1,507	1,579	▲17.2	▲ 4.8
		さば	373	347	357	366	322	316	328	▲11.9	▲ 3.7
		さんま	474	360	417	404	359	295	372	▲21.4	▲26.1
	たい	443	323	361	375	394	368	298	▲32.9	▲19.2	
	ぶり	1,091	1,091	1,034	1,088	1,056	1,070	969	▲11.2	▲ 9.5	
	いか	924	770	743	774	694	627	594	▲35.7	▲ 5.2	
	たこ	415	458	442	453	471	478	408	▲ 1.5	▲14.5	
	えび	1,159	1,001	976	1,052	1,041	1,012	951	▲17.9	▲ 6.0	
	かに	648	604	638	632	575	583	472	▲27.2	▲19.0	
	貝類小計	1,504	1,293	1,252	1,258	1,228	1,180	1,120	▲25.5	▲ 5.0	
	額	あさり	344	337	303	309	306	298	247	▲28.3	▲17.2
		しじみ	137	132	127	141	136	133	133	▲ 2.8	▲ 0.3
かき		334	292	314	313	322	320	294	▲12.0	▲ 8.4	
ほたてがい		511	382	356	346	316	274	316	▲38.1	▲15.2	
塩干魚介計		5,326	4,766	4,815	4,964	4,868	4,816	4,589	▲13.8	▲ 4.7	
塩さけ		701	666	694	777	742	756	723	▲ 3.1	▲ 4.4	
魚肉練製品		3,003	2,803	2,879	2,990	2,922	2,903	2,763	▲ 8.0	▲ 4.8	
他の魚介加工品		3,340	3,455	3,553	3,597	3,555	3,573	3,556	▲ 6.5	▲ 0.5	
(参考)生鮮肉計		20,343	20,317	22,370	23,510	23,924	24,464	24,671	▲21.3	▲ 0.8	
牛 肉		6,673	6,412	6,970	6,995	7,303	7,369	7,339	▲10.0	▲ 0.4	
豚 肉		8,165	8,193	9,117	9,839	9,854	10,077	10,266	▲25.7	▲ 1.9	

資料：総務省「家計調査年報」（二人以上の世帯）に基づき水産庁で作成

3 国 際

3-1 世界の漁業・養殖業生産量の推移

(単位：万トン)

	昭和35年 (1960)	45 (1970)	55 (1980)	平成2 (1990)	12 (2000)	22 (2010)	28 (2016)	29 (2017)	増減率 (%)	
									平成29/12 (2017/2000)	29/28 (2017/2016)
世界計	3,687	6,757	7,602	10,321	13,771	16,617	19,867	20,559	49.3	3.5
漁業	3,476	6,386	6,823	8,593	9,469	8,819	9,054	9,364	▲ 1.1	3.4
養殖業	211	371	779	1,728	4,301	7,798	10,813	11,195	160.3	3.5
中国	317	397	625	1,511	4,457	6,284	7,834	7,994	79.3	2.0
漁業	222	249	315	671	1,482	1,505	1,602	1,558	5.1	▲ 2.8
養殖業	96	148	311	839	2,975	4,779	6,232	6,436	116.3	3.3
インドネシア	76	126	188	324	515	1,167	2,259	2,263	339.3	0.2
漁業	68	115	165	264	416	539	658	674	62.0	2.3
養殖業	8	11	23	60	99	628	1,600	1,590	1499.6	▲ 0.7
インド	116	176	245	388	567	851	1,078	1,163	105.2	7.9
漁業	112	164	208	286	373	472	508	545	46.3	7.2
養殖業	4	12	37	102	194	379	570	618	218.2	8.4
ベトナム	47	62	56	94	214	495	671	711	231.7	6.0
漁業	44	55	46	78	163	225	313	328	101.1	4.8
養殖業	4	7	10	16	51	270	358	383	646.1	7.0
EU (28か国)	583	823	854	914	825	676	655	703	▲14.8	7.3
漁業	557	775	781	808	685	550	526	568	▲17.0	8.0
養殖業	27	48	74	106	141	126	129	135	▲ 3.7	4.8
米国	282	296	387	594	525	481	535	548	4.5	2.4
漁業	271	279	370	562	479	432	491	504	5.3	2.7
養殖業	10	17	17	32	46	50	44	44	▲ 3.8	▲ 1.1
ロシア	766	410	420	495	507	23.4	2.4
漁業	740	403	408	477	488	21.1	2.2
養殖業	26	8	12	17	19	141.9	7.2
日本	619	931	1,112	1,105	638	531	436	431	▲32.5	▲ 1.2
漁業	589	872	1,004	968	509	416	329	328	▲35.5	▲ 0.3
養殖業	30	60	109	137	129	115	107	102	▲20.8	▲ 4.2
ペルー	350	1,248	271	687	1,067	439	393	429	▲59.8	9.1
漁業	350	1,248	271	687	1,066	431	383	419	▲60.7	9.3
養殖業	0	0	0	1	1	9	10	10	1,423.0	0.3
バングラデシュ	40	69	65	85	166	304	388	413	148.9	6.6
漁業	35	63	56	65	100	173	167	180	79.3	7.5
養殖業	5	6	9	19	66	131	220	233	255.1	5.9
フィリピン	50	110	172	253	302	505	423	413	36.6	▲ 2.4
漁業	44	100	138	186	192	250	203	189	▲ 1.6	▲ 6.8
養殖業	6	10	33	67	110	255	220	224	103.3	1.7
ノルウェー	139	298	254	195	338	386	353	384	13.6	8.9
漁業	139	298	253	180	289	284	220	253	▲12.4	15.0
養殖業	0	0	1	15	49	102	133	131	166.3	▲ 1.3

資料：FAO「Fishstat (Capture Production)、(Aquaculture Production)」(日本以外の国)及び農林水産省「漁業・養殖業生産統計」(日本)に基づき水産庁で作成



3-2 食用魚介類供給量の推移

(1) 主要国別供給量の推移

(単位：万トン)

	昭和36年 (1961)	45 (1970)	55 (1980)	平成2 (1990)	12 (2000)	22 (2010)	24 (2012)	25 (2013)	増減率 (%)	
									平成25/昭和36 (2013/1961)	平成25/24 (2013/2012)
世界	2,748	3,961	5,047	7,105	9,574	12,714	13,303	13,293	383.8	▲ 0.1
中国	284	309	432	1,217	3,082	4,373	4,775	4,775	1,584.1	0.0
EU(28か国)	562	711	722	899	1,014	1,154	1,132	1,145	103.7	1.1
インドネシア	93	119	176	267	431	655	704	704	656.4	0.0
米国	247	304	358	557	627	680	677	688	179.2	1.6
インド	85	156	217	326	466	690	631	631	641.5	0.0
日本	476	636	767	880	853	677	661	628	32.0	▲ 4.9
その他	1,002	1,726	2,376	2,959	3,101	4,486	4,723	4,721	371.3	▲ 0.0

資料：FAO「Food Balance Sheets」(日本以外の国)及び農林水産省「食料需給表」(日本)
注：中国は香港、マカオ及び台湾を除く数値。

(2) 国民1人1年当たりの供給量の推移

(単位：kg/人年)

	昭和36年 (1961)	45 (1970)	55 (1980)	平成2 (1990)	12 (2000)	22 (2010)	24 (2012)	25 (2013)	増減率 (%)	
									平成25/昭和36 (2013/1961)	平成25/24 (2013/2012)
世界平均	9.0	10.8	11.5	13.5	15.9	18.8	19.2	19.0	110.7	▲ 1.2
日本	50.4	61.3	65.5	71.2	67.2	52.8	51.8	49.3	▲ 2.2	▲ 4.8
中国	4.3	3.8	4.4	10.4	24.1	32.2	34.7	34.5	703.5	▲ 0.6
インドネシア	10.2	10.4	12.1	14.9	20.6	27.2	28.5	28.2	175.1	▲ 1.2
EU(28か国)	14.6	17.2	16.6	20.1	20.8	22.8	22.3	22.5	54.4	0.9
米国	13.0	14.5	15.5	21.9	22.0	21.8	21.3	21.5	65.2	0.8
インド	1.9	2.8	3.1	3.8	4.5	5.7	5.1	5.0	171.0	▲ 1.2

資料：FAO「Food Balance Sheets」(日本以外の国)及び農林水産省「食料需給表」(日本)
注：中国は香港、マカオ及び台湾を除く数値。

3-3 マグロ類に関する情報

(1) 国・地域別漁獲量

(単位：トン)

	昭和35年 (1960)	45 (1970)	55 (1980)	平成2 (1990)	12 (2000)	22 (2010)	28 (2016)	29 (2017)	増減率 (%)	
									平成29/12 (2017/2000)	平成29/28 (2017/2016)
インドネシア	2,837	7,172	27,827	82,308	199,616	150,403	241,328	275,178	37.9	14.0
EU (28か国)	78,047	83,381	156,869	288,523	269,713	183,979	212,394	210,622	▲21.9	▲0.8
台湾	8,200	95,664	109,618	191,111	238,410	169,283	174,558	169,667	▲28.8	▲2.8
日本	381,365	278,944	361,340	277,518	275,474	207,094	167,399	168,214	▲38.9	0.5
メキシコ	3,500	7,000	21,118	118,114	105,708	109,319	102,297	127,299	20.4	24.4
エクアドル	0	7,200	9,000	25,307	68,096	62,783	94,232	123,744	81.7	31.3
その他	163,859	275,272	382,532	575,919	851,703	946,826	1,110,802	1,172,407	37.7	5.5
合計	637,808	754,633	1,068,304	1,558,800	2,008,720	1,829,687	2,103,010	2,247,131	11.9	6.9

資料：FAO「Fishstat (Capture Production)」(日本以外の国・地域)及び農林水産省「漁業・養殖業生産統計」(日本)
注：クロマグロ、ミナミマグロ、キハダ、メバチ及びビンナガの合計値である。

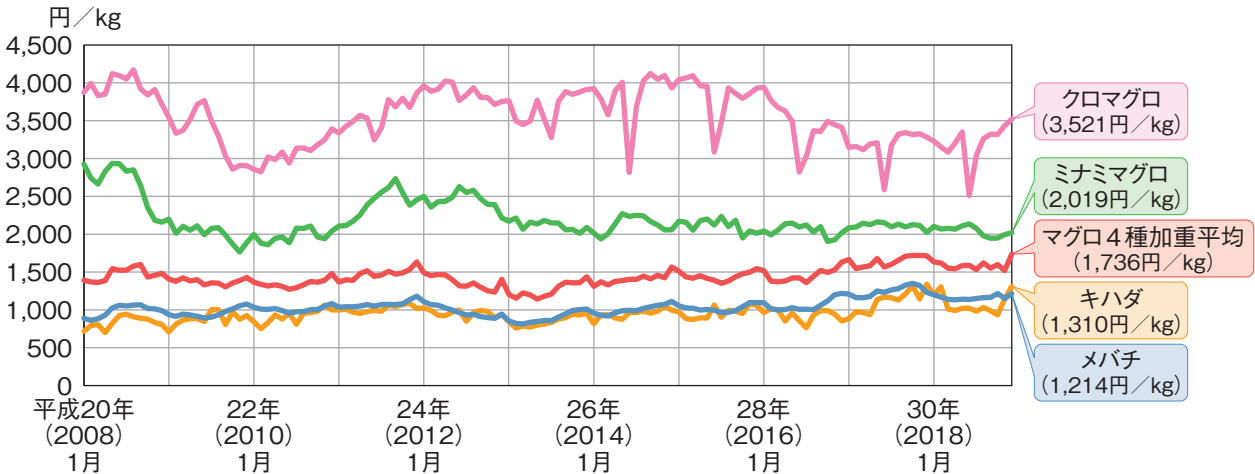
(2) 魚種別漁獲量

(単位：トン)

	昭和35年 (1960)	45 (1970)	55 (1980)	平成2 (1990)	12 (2000)	22 (2010)	28 (2016)	29 (2017)	増減率 (%)	
									平成29/12 (2017/2000)	平成29/28 (2017/2016)
キハダ	296,031	365,282	562,115	1,014,556	1,246,869	1,186,553	1,454,337	1,486,999	19.3	2.2
メバチ	81,032	146,831	232,284	268,485	470,381	362,748	389,719	473,746	0.7	21.6
ビンナガ	161,276	169,953	195,189	230,667	220,196	240,196	212,296	234,449	6.5	10.4
クロマグロ	95,924	64,980	67,309	39,578	55,630	29,832	32,574	39,190	▲29.6	20.3
ミナミマグロ	3,545	7,587	11,407	5,514	15,644	10,358	14,084	12,747	▲18.5	▲9.5
合計	637,808	754,633	1,068,304	1,558,800	2,008,720	1,829,687	2,103,010	2,247,131	11.9	6.9

資料：FAO「Fishstat (Capture Production)」(日本以外の国)及び農林水産省「漁業・養殖業生産統計」(日本)
注：我が国のミナミマグロは、平成7(1995)年にクロマグロから分離された。平成6(1994)年まではクロマグロの漁獲量に含まれる。

(3) 冷凍マグロ4種の消費地市場(東京都) 価格の推移



資料：東京都中央卸売市場資料に基づき水産庁で作成

(4) 我が国への供給量の推移

(単位：万トン)

	平成19年 (2007)	24 (2012)	25 (2013)	26 (2014)	27 (2015)	28 (2016)	29 (2017)	増減率 (%)	
								29/19 (2017/2007)	29/28 (2017/2016)
国内生産量	25.6	21.7	19.8	20.4	20.4	18.1	18.4	▲28.2	1.8
輸入量	21.8	19.0	18.0	18.3	20.6	21.0	19.7	▲9.8	▲6.2
国内供給量	47.4	40.7	37.8	38.7	41.0	39.0	38.1	▲19.8	▲2.5

資料：農林水産省「漁業・養殖業生産統計」及び財務省「貿易統計」に基づき水産庁で作成

- 注：1) 平成24(2012)年から「漁業・養殖業生産統計」の海面養殖業において、「くろまぐろ」の項目が「その他の魚類」の項目から分離されたため、国内生産量及び国内供給量に海面養殖業の値を含む。このため、平成23(2011)年以前と24(2012)年は連続しない。
2) クロマグロ、ミナミマグロ、キハダ、メバチ及びビンナガの合計値である。
3) 輸入量は、生鮮冷蔵・冷凍の製品重量である。



4 漁業経営・生産構造

4-1 漁業経営体数の推移

(単位：経営体)

		平成5年 (1993)	10 (1998)	15 (2003)	20 (2008)	25 (2013)	増減率 (%)	
							25/5 (2013/1993)	25/20 (2013/2008)
合	計	171,524	150,586	132,417	115,196	94,507	▲44.9	▲18.0
海面 漁業	計	138,568	122,980	109,350	95,550	79,563	▲42.6	▲16.7
	漁船非使用	5,298	4,365	3,883	3,694	3,032	▲42.8	▲17.9
	無動力漁船	467	285	198	157	97	▲79.2	▲38.2
	船外機付漁船	…	…	…	24,161	20,709	…	▲14.3
	動力漁船計	126,059	111,999	99,692	62,877	51,606	▲59.1	▲17.9
	1トン未満	39,189	34,460	30,951	3,448	2,770	▲92.9	▲19.7
	1～3	31,650	26,255	22,254	18,077	14,109	▲55.4	▲22.0
	3～5	34,664	32,169	29,010	25,628	21,080	▲39.2	▲17.7
	5～10	11,827	11,207	10,494	9,550	8,247	▲30.3	▲13.6
	10～20	5,469	5,071	4,602	4,200	3,643	▲33.4	▲13.3
	20～30	769	769	661	610	559	▲27.3	▲8.4
	30～50	634	561	537	485	466	▲26.5	▲3.9
	50～100	737	555	455	351	293	▲60.2	▲16.5
	100～200	424	380	313	275	252	▲40.6	▲8.4
	200～500	315	283	197	115	76	▲75.9	▲33.9
	500～1,000	203	150	107	67	55	▲72.9	▲17.9
	1,000～3,000	172	131	104	68	53	▲69.2	▲22.1
	3,000トン以上	6	8	7	3	3	▲50.0	0.0
	大型定置網	1,126	1,068	969	1,086	1,252	11.2	15.3
	小型定置網	5,272	5,042	4,457	3,575	2,867	▲45.6	▲19.8
地びき網	346	221	151	…	…	…	…	
海面 養殖業	計	32,956	27,606	23,067	19,646	14,944	▲54.7	▲23.9
	のり	10,181	7,733	6,065	4,868	3,819	▲62.5	▲21.5
	かき	3,365	3,352	3,308	2,879	2,018	▲40.0	▲29.9
	真珠	2,010	1,699	1,358	971	680	▲66.2	▲30.0
	真珠母貝	1,307	1,143	683	448	276	▲78.9	▲38.4
	わかめ	4,189	3,205	2,383	2,356	2,029	▲51.6	▲13.9
	ぶり	1,725	1,284	1,023	839	632	▲63.4	▲24.7
	ほたてがい	4,511	4,363	3,859	3,411	2,466	▲45.3	▲27.7
	まだい	1,423	1,258	1,009	753	535	▲62.4	▲29.0
	まぐろ類	…	…	…	39	63	…	61.5
	その他	4,245	3,569	3,379	3,082	2,426	▲42.9	▲21.3
沿岸漁業経営体計	162,795	142,678	125,434	109,022	89,107	▲45.3	▲18.3	
中小漁業経営体計	8,551	7,769	6,872	6,103	5,344	▲37.5	▲12.4	
大規模漁業経営体計	178	139	111	71	56	▲68.5	▲21.1	

資料：農林水産省「漁業センサス」

- 注：1) 漁業経営体とは、過去1年間に利潤又は生活の資を得るために、生産物を販売することを目的として、海面において水産動植物の採捕又は養殖の事業を行った世帯又は事業所をいう（ただし、過去1年間における漁業の海上作業従事日数が30日未満の個人経営体は除く）。
- 2) 沿岸漁業経営体とは、漁船非使用、無動力漁船、船外機付漁船、使用動力船合計総トン数10トン未満、定置網及び海面養殖の経営体をいい、中小漁業経営体とは、使用動力船合計総トン数10トン以上1,000トン未満の経営体をいい、大規模漁業経営体とは、使用動力船合計総トン数1,000トン以上の経営体をいう。
- 3) 平成15（2003）年以前については、船外機付船は1トン未満の動力船に含まれ、海面養殖業のまぐろ類はその他に含まれる。
- 4) 大型定置網には、さけ定置網を含める。
- 5) 平成20（2008）及び25（2013）年の地びき網については、階層区分から除外し、使用した漁船の状況について該当する階層に振り分けた。

4-2 経営組織別漁業経営体数の推移

(単位：経営体)

	平成19年 (2007)	24 (2012)	25 (2013)	27 (2015)	28 (2016)	29 (2017)	増減率 (%)	
							29/19 (2017/2007)	29/28 (2017/2016)
計	117,080	88,880	94,507	85,210	81,880	78,890	▲32.6	▲ 3.7
個人経営体	111,210	83,950	89,470	80,570	77,370	74,470	▲33.0	▲ 3.7
団体経営体	5,870	4,940	5,037	4,640	4,500	4,420	▲24.7	▲ 1.8
会社	…	…	2,534	…	…	…	…	…
漁業協同組合	…	…	211	…	…	…	…	…
漁業生産組合	…	…	110	…	…	…	…	…
共同経営	…	…	2,147	…	…	…	…	…
その他	…	…	35	…	…	…	…	…

資料：農林水産省「漁業就業動向調査」（平成19（2007）年、平成24（2012）年及び27（2015）～29（2017）年）及び「漁業センサス」（平成25（2013）年）

注：1） 漁業経営体とは、4-1の注：1）と同じ。

2） 平成24（2012）年調査は岩手県、宮城県及び福島県を除く結果である。

4-3 漁業用生産資材価格指数の推移（平成27（2015）年=100）

	国内企業 物価指数	A重油	漁網	ロープ	プラスチック (不飽和ポリエ ステル樹脂)	ガラス長 繊維製品	塗料
平成27（2015）年	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
30（2018）年 1月	100.3	122.1	100.8	102.2	103.5	99.9	99.7
2月	100.3	121.7	100.8	103.0	103.5	99.9	99.8
3月	100.2	118.5	100.8	103.0	104.5	99.9	99.2
4月	100.6	123.4	100.8	106.6	105.5	100.1	100.7
5月	101.1	134.0	104.7	106.6	109.7	100.1	101.0
6月	101.3	137.6	104.7	106.6	110.2	100.1	101.2
7月	101.8	137.8	104.7	106.6	110.2	100.1	101.2
8月	101.8	136.2	104.7	106.6	110.2	100.1	100.1
9月	102.0	141.9	104.7	106.6	110.2	101.0	100.3
10月	102.4	150.7	104.7	106.6	110.2	101.0	100.9
11月	102.1	137.7	104.7	106.6	110.2	101.0	101.4
12月	101.5	121.3	104.7	106.6	110.2	101.0	101.2
31（2019）年 1月	100.9	116.8	104.7	106.6	110.2	101.0	100.8
2月	101.2	123.1	104.7	106.6	110.2	101.0	101.2
3月	101.5	129.1	104.7	106.6	110.2	101.0	100.9

資料：日本銀行「物価関連統計」

4-4 沿岸漁家の漁労所得の推移

(単位：万円)

	平成19年 (2007)	24 (2012)	25 (2013)	26 (2014)	27 (2015)	28 (2016)	29 (2017)
沿岸漁家平均	326.6	238.0	239.5	253.6	350.9	338.3	347.8
沿岸漁船漁家	274.2	204.1	189.5	199.0	261.2	234.9	218.7
海面養殖業漁家	538.4	400.1	505.9	540.7	821.5	1,003.6	1,165.5

資料：農林水産省「漁業経営調査報告」に基づき水産庁で作成

注：1） 沿岸漁家平均は、「漁業経営調査報告」の個人経営体調査（平成24（2012）年以降）の結果を10トン未満の漁船漁業、小型定置網漁業及び海面養殖業の経営体の比に応じて加重平均して算出した。

2） 沿岸漁船漁家は、「漁業経営調査報告」の個人経営体調査（平成24（2012）年以降）の漁船漁業の結果から、10トン未満分を再集計した。

3） 平成24（2012）～29（2017）年調査の漁船漁業については、東日本大震災により、漁業が行えなかった等から福島県の経営体を除く結果である。平成24（2012）年調査の海面養殖業については、岩手県及び宮城県の調査経営体を含まない（かき類養殖業を除く。）。平成25（2013）年調査ののり類養殖業は、宮城県の経営体を除く結果である。

4） 平成28（2016）年調査において、調査体系の見直しが行われたため、平成28（2016）年以降、わかめ類養殖と真珠養殖を除く結果である。

5） 漁労所得には、補助金・補償金（漁業）を含めていない。



4-5 沿岸漁船漁家の漁業経営状況の推移

(単位：千円)

	平成19年 (2007)	24 (2012)	25 (2013)	26 (2014)	27 (2015)	28 (2016)	29 (2017)
漁 労 収 入	6,716	6,141	5,954	6,426	7,148	6,321	6,168
漁 労 支 出	3,974(100.0)	4,100(100.0)	4,060(100.0)	4,436(100.0)	4,536(100.0)	3,973(100.0)	3,981(100.0)
雇用労賃	441(11.1)	534(13.0)	503(12.4)	562(12.7)	671(14.8)	494(12.4)	581(14.6)
漁船・漁具費	335(8.4)	311(7.6)	299(7.4)	359(8.1)	392(8.7)	289(7.3)	284(7.1)
修繕費	252(6.3)	313(7.6)	302(7.4)	344(7.8)	358(7.9)	396(10.0)	342(8.6)
油 費	821(20.7)	783(19.1)	820(20.2)	867(19.5)	717(15.8)	601(15.1)	620(15.6)
販売手数料	417(10.5)	375(9.1)	375(9.2)	420(9.5)	484(10.7)	432(10.9)	409(10.3)
減価償却費	575(14.5)	665(16.2)	576(14.2)	610(13.7)	595(13.1)	568(14.3)	586(14.7)
そ の 他	1,133(28.5)	1,119(27.3)	1,186(29.2)	1,274(28.7)	1,319(29.1)	1,193(30.0)	1,159(29.1)
漁 労 所 得	2,742	2,041	1,895	1,990	2,612	2,349	2,187
漁労外事業所得	122	297	184	159	209	181	204
事 業 所 得	2,864	2,339	2,078	2,149	2,821	2,530	2,391

資料：農林水産省「漁業経営調査報告」に基づき水産庁で作成

- 注：1) 「漁業経営調査報告」の家族型調査（平成19（2007）年）及び個人経営体調査（平成24（2012）年以降）の漁船漁業の結果から、10トン未満分を再集計した。（ ）内は漁労支出の構成割合（％）である。
 2) 平成24（2012）～29（2017）年調査は、東日本大震災により漁業が行えなかった等から福島県の経営体を除く結果である。
 3) 漁労収入には、補助・補償金（漁業）を含めていない。

4-6 海面養殖業漁家の経営状況の推移

(単位：千円)

	平成19年 (2007)	24 (2012)	25 (2013)	26 (2014)	27 (2015)	28 (2016)	29 (2017)
漁 労 収 入	21,615	22,958	23,317	25,537	30,184	32,928	36,629
漁 労 支 出	16,232(100.0)	18,957(100.0)	18,258(100.0)	20,129(100.0)	21,969(100.0)	22,892(100.0)	24,974(100.0)
雇用労賃	1,800(11.1)	3,120(16.5)	2,793(15.3)	3,166(15.7)	3,305(15.0)	2,647(11.6)	2,936(11.8)
油 費	1,122(6.9)	1,216(6.4)	1,240(6.8)	1,311(6.5)	1,122(5.1)	1,002(4.4)	1,202(4.8)
販売手数料	796(4.9)	654(3.4)	691(3.8)	751(3.7)	962(4.4)	1,220(5.3)	1,258(5.0)
減価償却費	1,829(11.3)	2,264(11.9)	2,019(11.1)	2,368(11.8)	2,537(11.5)	2,681(11.7)	2,813(11.3)
そ の 他	10,684(65.8)	11,702(61.7)	11,515(63.1)	12,533(62.3)	14,043(56.2)	15,342(61.4)	16,765(67.1)
漁 労 所 得	5,384	4,001	5,059	5,407	8,215	10,036	11,655

資料：農林水産省「漁業経営調査報告」に基づき水産庁で作成

- 注：1) 「漁業経営調査報告」の個人経営体調査（平成24（2012）年以降）の結果を基に養殖種類ごとの経営体数で加重平均した。（ ）内は漁労支出の構成割合（％）である。
 2) 平成24（2012）年調査は、岩手県及び宮城県の調査経営体を除く結果である（かき類養殖業を除く）。平成25（2013）年調査ののり類養殖業は、宮城県の経営体を除く結果である。
 3) 平成28（2016）年調査において、調査体系の見直しが行われたため、平成28（2016）年以降、わかめ類養殖と真珠養殖を除く結果である。
 4) 漁労収入には、補助金・補償金（漁業）を含めていない。

4-7 会社経営体（漁船漁業）の漁労収益の状況（平成29（2017）年度）

（単位：千円）

	漁労収入 (漁労売上高)	漁労支出				漁労利益		経常利益	売上利益率(%)	
		合計	雇用労賃 (労務費)	油費	減価償却費	減価 償却前	減価 償却後		減価 償却前	減価 償却後
平均	368,187	378,576	121,838(32.2)	47,110(12.4)	37,122(9.8)	26,733	▲10,389	24,020	7.3	▲ 2.8
10～20トン	66,849	69,134	23,039(33.3)	8,394(12.1)	3,986(5.8)	1,701	▲ 2,285	4,173	2.5	▲ 3.4
20～50トン	66,606	70,852	19,361(27.3)	7,622(10.8)	5,833(8.2)	1,587	▲ 4,246	3,764	2.4	▲ 6.4
50～100トン	144,711	149,600	55,541(37.1)	13,621(9.1)	14,678(9.8)	9,789	▲ 4,889	9,253	6.8	▲ 3.4
100～200トン	323,658	327,017	111,096(34.0)	39,081(12.0)	30,817(9.4)	27,458	▲ 3,359	20,001	8.5	▲ 1.0
200～500トン	658,456	678,815	205,293(30.2)	71,562(10.5)	85,675(12.6)	65,316	▲20,359	7,212	9.9	▲ 3.1
500トン以上	1,841,275	1,880,491	599,066(31.9)	242,943(12.9)	206,915(11.0)	167,699	▲39,216	157,390	9.1	▲ 2.1

資料：農林水産省「漁業経営調査報告」に基づき水産庁で作成

注：1) トン数階層は、経営体が使用した漁船の合計トン数である。

2) 漁労支出＝漁労売上原価＋漁労販売費及び一般管理費

3) 漁労利益＝漁労収入－漁労支出

4) 売上利益率＝(漁労利益÷漁労収入)×100

5) 表頭の()内は、「漁業経営調査報告」の会社経営体調査の項目名である。

6) 表中の()内は、漁労支出の構成割合(%)である。

4-8 会社経営体（漁船漁業）の収益状況の推移

（単位：千円）

項 目		平成19年度 (2007)	24 (2012)	25 (2013)	26 (2014)	27 (2015)	28 (2016)	29 (2017)
規模	使用動力船総トン数(トン)	241.34	212.15	213.79	192.25	204.39	218.85	223.11
	最盛期の従事者数(人)	21.2	20.3	20.0	19.0	19.3	19.6	20.0
	漁獲量(トン)	1,678	1,532	1,523	1,397	1,788	1,781	1,883
漁業損益	漁労収入(漁労売上高)	308,680	282,456	281,446	285,787	327,699	337,238	368,187
	漁労支出	312,356	292,539	300,050	305,295	335,955	354,546	378,576
	雇用労賃(労務費)	99,490	91,397	89,355	92,981	105,940	114,969	121,838
	漁船・漁具費	13,682	12,108	13,778	14,753	18,155	23,187	28,520
	油 費	64,006	58,831	61,745	60,854	54,299	43,119	47,110
	販売手数料	12,161	12,413	11,889	11,941	14,650	14,073	15,143
	その他の漁労支出	100,584	95,207	96,713	98,292	108,717	120,837	128,843
	減価償却費	22,433	22,583	26,570	26,474	34,194	38,361	37,122
	漁労利益	▲ 3,676	▲10,083	▲18,604	▲19,508	▲ 8,256	▲17,308	▲10,389
	経常利益	8,871	13,194	1,698	9,396	27,237	20,441	24,020
償却前経常利益	31,304	35,777	28,268	35,870	61,431	58,802	61,142	
分析指標	売上高償却前利益率(%)	10.1	12.7	10.0	12.6	18.7	17.4	16.6
	1人当たり労賃	4,693	4,502	4,468	4,894	5,489	5,866	6,092
	1人当たり売上高	14,560	13,914	14,072	15,041	16,979	17,206	18,409

資料：農林水産省「漁業経営調査報告」に基づき水産庁で作成

注：1) 漁労支出＝漁労売上原価＋漁労販売費及び一般管理費

2) 漁労利益＝漁労収入－漁労支出

3) 経常利益＝漁労利益＋漁労外売上高－(漁労外売上原価＋漁労外販売費及び一般管理費)＋営業外収益－営業外費用

4) 償却前経常利益＝経常利益＋減価償却費

5) 売上高償却前利益率＝(償却前経常利益÷漁労収入)×100

6) 1人当たり労賃＝雇用労賃÷最盛期の従事者数

7) 1人当たり売上高＝漁労収入÷最盛期の従事者数

8) 表側の()内は「漁業経営調査報告」の項目名である。



4-9 会社経営体（漁船漁業）の財務状況等の推移

		平成19年度 (2007)	24 (2012)	25 (2013)	26 (2014)	27 (2015)	28 (2016)	29 (2017)	
経常利益	(千円)	8,871	13,194	1,698	9,396	27,237	20,441	24,020	
売上高経常利益率	(%)	2.4	3.7	0.5	2.6	6.7	4.9	5.8	
総資本経常利益率	(%)	2.4	3.5	0.4	2.5	6.8	4.7	5.2	
総資本回転率	(回)	0.9	0.9	0.8	0.9	1.0	0.9	1.0	
総資産（負債・純資産）	(千円)	366,749	374,330	405,633	369,915	398,782	433,649	465,734	
固定資産	(千円)	188,255	171,193	191,265	190,059	189,644	223,856	230,942	
流動資産	(千円)	177,232	201,359	212,630	177,848	207,016	208,710	234,051	
負債	(千円)	393,300	324,635	358,722	314,758	315,115	315,965	333,497	
固定負債	(千円)	163,304	165,546	191,032	164,517	170,951	174,295	167,212	
流動負債	(千円)	229,996	159,089	167,690	150,241	144,164	141,670	166,285	
自己資本	(千円)	▲26,551	49,695	46,911	55,157	83,667	117,684	132,237	
固定資産比率	(%)	51.3	45.7	47.2	51.4	47.6	51.6	49.6	
固定比率	(%)	▲709.0	344.5	407.7	344.6	226.7	190.2	174.6	
流動比率	(%)	77.1	126.6	126.8	118.4	143.6	147.3	140.8	
自己資本比率	(%)	▲7.2	13.3	11.6	14.9	21.0	27.1	28.4	
漁業部門	漁労収入（漁労売上高）	(千円)	308,680	282,456	281,446	285,787	327,699	337,238	368,187
	漁労支出	(千円)	312,356	292,539	300,050	305,295	335,955	354,546	378,576
	最盛期の従事者数	(人)	21.2	20.3	20.0	19.0	19.3	19.6	20.0
	1人当たり売上高	(千円)	14,560	13,914	14,072	15,041	16,979	17,206	18,409
	漁労利益	(千円)	▲3,676	▲10,083	▲18,604	▲19,508	▲8,256	▲17,308	▲10,389
	売上利益率	(%)	▲1.2	▲3.6	▲6.6	▲6.8	▲2.5	▲5.1	▲2.8
	付加価値生産性	(千円)	7,569	7,041	6,579	7,176	8,760	8,858	9,751
	付加価値率	(%)	2.5	2.5	2.3	2.5	2.7	2.6	2.6

資料：農林水産省「漁業経営調査報告」に基づき水産庁で作成

- 注：1) 経常利益＝漁労利益＋漁労外売上高－（漁労外売上原価＋漁労外販売費及び一般管理費）＋営業外収益－営業外費用
 2) 売上高経常利益率＝（経常利益÷事業収入）×100
 3) 総資本経常利益率＝（経常利益÷総資本）×100
 4) 総資本回転率＝売上高合計÷負債・純資産合計
 5) 固定資産比率＝（固定資産÷総資産）×100
 6) 固定比率＝（固定資産÷自己資本）×100
 7) 流動比率＝（流動資産÷流動負債）×100
 8) 自己資本比率＝（自己資本÷負債・純資産合計）×100
 9) 漁労支出＝漁労売上原価＋漁労販売費及び一般管理費
 10) 1人当たり売上高＝漁労収入÷最盛期の従事者数
 11) 漁労利益＝漁労収入－漁労支出
 12) 売上利益率＝（漁労利益÷漁労収入）×100
 13) 付加価値生産性＝（漁労収入－物的経費）÷最盛期の従業者数
 14) 付加価値率＝（付加価値額÷漁労収入）×100

4-10 漁協（沿海地区出資漁協）の事業規模（全国）の推移

(単位：億円)

項 目		平成18年度 (2006)	23 (2011)	24 (2012)	25 (2013)	26 (2014)	27 (2015)	28 (2016)
信用	貯金総額	8,645	8,894	8,910	8,663	8,140	7,885	7,921
	貸付総額	2,305	2,051	2,101	1,957	1,709	1,539	1,459
購買	供給取扱高	2,155	1,989	2,069	2,009	1,925	1,697	1,645
	うち石油類	1,091	1,030	1,038	1,093	1,031	782	690
	うち資材類	954	868	929	811	765	824	814
	うち生活用品	110	92	103	105	128	92	141
販売		12,044	9,630	10,199	10,483	10,913	11,336	11,087
共済	長期共済契約保有高	30,716	26,930	26,364	25,689	25,132	24,663	24,216
	短期共済掛金	51	45	43	43	42	42	41

資料：水産庁「水産業協同組合統計表」及び全国共済水産業協同組合連合会調べ

注：共済の長期共済契約保有高は普通厚生共済、生活総合共済及び漁業者高齢福祉共済の保障共済金額の合計。
 また、短期共済掛金は乗組員厚生共済、団体信用厚生共済及び火災共済の受入共済掛金の合計。

4-11 沿岸・沖合・遠洋漁業別就業者数の推移

(単位：人)

	平成19年 (2007)	24 (2012)	25 (2013)	26 (2014)	27 (2015)	28 (2016)	29 (2017)	増減率 (%)	
								29/19 (2017/2007)	29/28 (2017/2016)
計	204,330	173,660	180,985	173,030	166,610	160,020	153,490	▲24.9	▲ 4.1
自営漁業のみ	154,940	108,560	109,247	104,710	100,520	95,740	91,950	▲40.7	▲ 4.0
(うち女性)	(31,520)	(20,340)	(19,823)	(18,710)	(17,860)	(16,980)	(16,640)	▲47.2	▲ 2.0
漁業雇われ	49,400	65,090	71,738	68,320	66,100	64,280	61,530	24.6	▲ 4.3
(うち女性)	(1,680)	(4,060)	(4,045)	(3,870)	(4,030)	(3,550)	(4,340)	158.3	22.3
沿岸漁業就業者	178,230
自営漁業のみ	150,210	105,820	...	100,880	96,720	92,370	88,670	▲41.0	▲ 4.0
(うち女性)	(31,060)	(20,210)	...	(18,450)	(17,640)	(16,850)	(16,540)	▲46.7	▲ 1.8
漁業雇われ	28,020
沖合・遠洋漁業就業者	26,110
自営漁業のみ	4,720	2,750	...	3,830	3,800	3,370	3,280	▲30.5	▲ 2.7
(うち女性)	(470)	(120)	...	(250)	(220)	(130)	(100)	▲78.7	▲23.1
漁業雇われ	21,380

資料：農林水産省「漁業就業動向調査」(平成19(2007)年、24(2012)年及び26(2014)～29(2017)年)及び「漁業センサス」(平成25(2013)年)

- 注：1) 漁業就業者とは、満15歳以上で過去1年間に漁業の海上作業に30日以上従事した者をいう。
 2) 自営漁業のみとは、漁業就業者のうち、自営漁業のみに従事し、共同経営の漁業又は雇われての漁業には従事していない者をいう(漁業以外の仕事に従事したか否かは問わない)。
 3) 漁業雇われとは、漁業就業者のうち、「自営漁業のみ」以外の者をいう(漁業以外の仕事に従事したか否かは問わない)。
 4) 沿岸漁業就業者とは、漁船非使用漁業、10トン未満の漁船(無動力漁船及び船外機付漁船を含む)を使用する漁業、定置網漁業及び海面養殖業に従事した漁業就業者をいう。
 5) 沖合・遠洋漁業就業者とは、沿岸漁業就業者以外の漁業就業者をいう。
 6) 平成24(2012)年以降は雇い主である漁業経営体の側から調査を行ったため、これまで含まれなかった非沿海市区町村に居住しているものを含んでおり、それ以前とは連続しない。
 7) 平成24(2012)年調査は、岩手県、宮城県及び福島県を除く結果である。

4-12 新規漁業就業者数の推移

	平成19年 (2007)	24 (2012)	25 (2013)	26 (2014)	27 (2015)	28 (2016)	29 (2017)
新規就業者数 (人)	1,081	1,920	1,790	1,875	1,915	1,927	1,971
新規学卒就業者 (%)	17.1	22.1	23.7	21.2	19.7	20.7	21.0
離職転入者 (%)	59.3	68.2	65.9	68.1	70.0	64.7	66.8

資料：平成19(2007)年は(一社)大日本水産会による漁業協同組合等へのアンケート調査結果、平成24(2012)年以降は都道府県が実施している新規就業者に関する調査から推計

- 注：1) 新規学卒就業者は、学校等を卒業し他産業に主として従事することなく当該年次に新たに漁業に就業した者である。
 2) 離職転入者は、他産業に主として従事していた者で当該年次に新たに漁業に主として従事した者である。
 3) 新規学卒就業者及び離職転入者の比率は、新規就業者のうち回答のあった者における割合である。

4-13 我が国の漁船勢力の推移

(単位：隻)

	昭和43年 (1968)	48 (1973)	53 (1978)	58 (1983)	63 (1988)	平成5 (1993)	10 (1998)	15 (2003)	20 (2008)	25 (2013)
計	345,606	331,274	320,972	320,949	293,934	267,574	236,484	213,808	185,465	152,998
無動力漁船	95,701	54,303	30,474	24,815	16,815	12,869	7,840	7,688	5,327	3,779
船外機付漁船	74,115	99,349	111,860	119,358	114,914	108,121	98,109	91,195	81,076	67,572
動力漁船	175,790	177,622	178,638	176,776	162,205	146,584	130,535	114,925	99,062	81,647

資料：漁業センサス

注：海面漁業で漁業生産のために使用されたものであって、調査日現在に使用しているもの。



5 漁村

5-1 漁港数の推移

(単位：港)

		平成20年 (2008)	25 (2013)	28 (2016)	29 (2017)	30 (2018)
漁港数		2,921	2,909	2,866	2,860	2,823
第1種	その利用範囲が地元の漁業を主とするもの。	2,210	2,179	2,134	2,128	2,089
第2種	その利用範囲が第1種漁港よりも広く、第3種漁港に属しないもの。	496	517	519	519	521
第3種	その利用範囲が全国的なもの。	101	101	101	101	101
特定第3種	第3種漁港のうち水産業の振興上特に重要な漁港で政令で定めるもの。	13	13	13	13	13
第4種	離島その他辺地において漁場の開発又は漁船の避難上特に必要なもの。	101	99	99	99	99

資料：水産庁調べ

注：各年4月1日現在の港数。

5-2 漁港登録漁船隻数の推移

(単位：隻)

	平成17年 (2005)	22 (2010)	25 (2013)	26 (2014)	27 (2015)
漁港登録動力漁船隻数	232,534	181,509	178,922	178,451	173,875

資料：水産庁調べ

注：1) 各年12月31日現在の隻数。

2) 平成22(2010)年及び25(2013)年については、被災地における一部漁港を除く。

6 水産物の栄養

1人1日当たり食品群別栄養素等摂取量 (平成29(2017)年)

	摂取量 (g)	エネルギー (kcal)	たんぱく質 (g)	脂質 (g)	カリウム (mg)	カルシウム (mg)	マグネシウム (mg)	鉄 (mg)	ビタミンD (μ g)	ビタミンE (mg)	ビタミンB12 (μ g)
総摂取量	2,038.1	1,897.6	69.4	59.0	2,249.7	514.4	239.8	7.5	6.9	6.6	5.6
うち魚介類	64.4	100.5	12.2	4.6	173.3	38.2	19.9	0.7	5.1	0.8	3.7
うち肉類	98.5	205.7	15.5	14.9	173.8	5.3	14.8	0.7	0.2	0.2	0.7
うち卵類	37.6	56.8	4.8	3.8	48.5	19.2	4.1	0.7	0.7	0.4	0.3
うち乳類	135.7	106.9	5.1	5.2	197.0	163.9	15.5	0.1	0.2	0.2	0.4
魚介類からの 摂取量の割合	3.2%	5.3%	17.6%	7.8%	7.7%	7.4%	8.3%	9.1%	74.1%	12.2%	66.2%

資料：厚生労働省「国民健康・栄養調査」(平成29(2017)年)